

## 平成26年度 第7回大阪湾生き物一斉調査について

### 1. 調査概要

平成26年度は、5月31日を中心に、大阪湾沿岸域の21地域と大阪湾内（スナメリ調査）において、1,244名が参加して、第7回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地域及び担当団体等は図1に示すとおりです。

なお、地域の番号はこれまでの調査と整合させずに、通し番号としています。

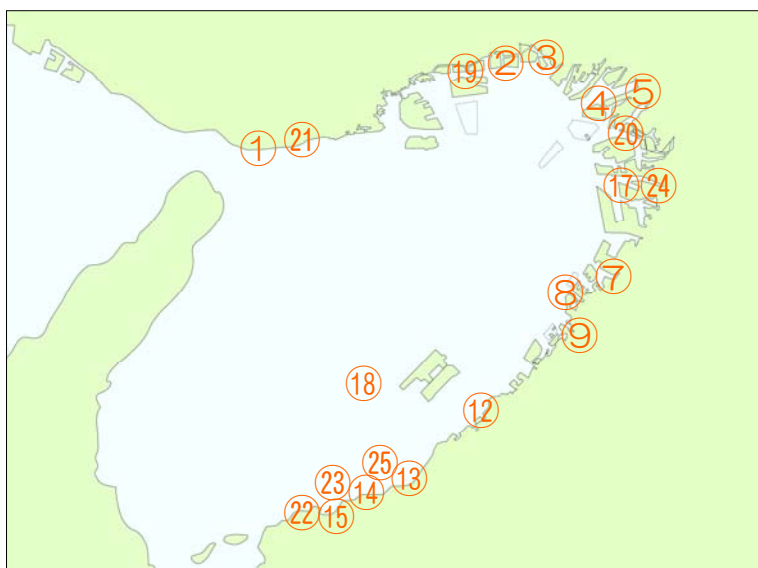


図1 平成26年度の調査箇所一覧

【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[6/15]
19 住吉川河口	豊かな森川海を育てる会[5/17]
2 香櫨園浜	西宮市貝類館
3 甲子園浜海浜公園	NPO法人 海浜の自然環境を守る会

【大阪府内】

調査地点	担当団体
4 矢倉海岸	西淀自然文化協会[6/7]
5 十三干潟（淀川）	(公社)大阪自然環境保全協会（淀川自然観察会）[6/1]
20 天保山	海遊館[6/7]
17 堺2区生物共生型護岸（友海ビーチ）	(公社)大阪自然環境保全協会（堺2区自然観察会） NPO法人 釣り文化協会 [5/18, 6/14]
24 堺浜自然再生 ふれあいビーチ	(公社)大阪自然環境保全協会（堺2区自然観察会）[6/14]
7 高師浜	浜寺公園自然の会[6/1]
8 大津川河口（左岸）	きしわだ自然資料館
9 阪南2区造成干潟	きしわだ自然資料館[6/1]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
10 近木川河口	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科[6/12] 貝塚市立自然遊学館
12 榎井川河口・岡田浦海岸	男里川干潟を守る会
13 樽井海岸・男里川河口干潟	男里川干潟を守る会、 きしわだ自然資料館[6/12]
25 尾崎海岸	(公社)大阪自然環境保全協会 (海のふしぎ観察会) [6/15]
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会
23 長松海岸	なにわ こどもエコクラブ[6/1] (公社)大阪自然環境保全協会 (自然環境市民大学) [6/11]
15 東川（落合川）河口	(公社)大阪自然環境保全協会 (海のふしぎ観察会) [6/1]
22 豊国崎	(公社)大阪自然環境保全協会 (海のふしぎ観察会) [6/1]
18 大阪湾広域[スナメリ調査]	海遊館、大阪ECO動物海洋専門学校 [5/23, 5/31]

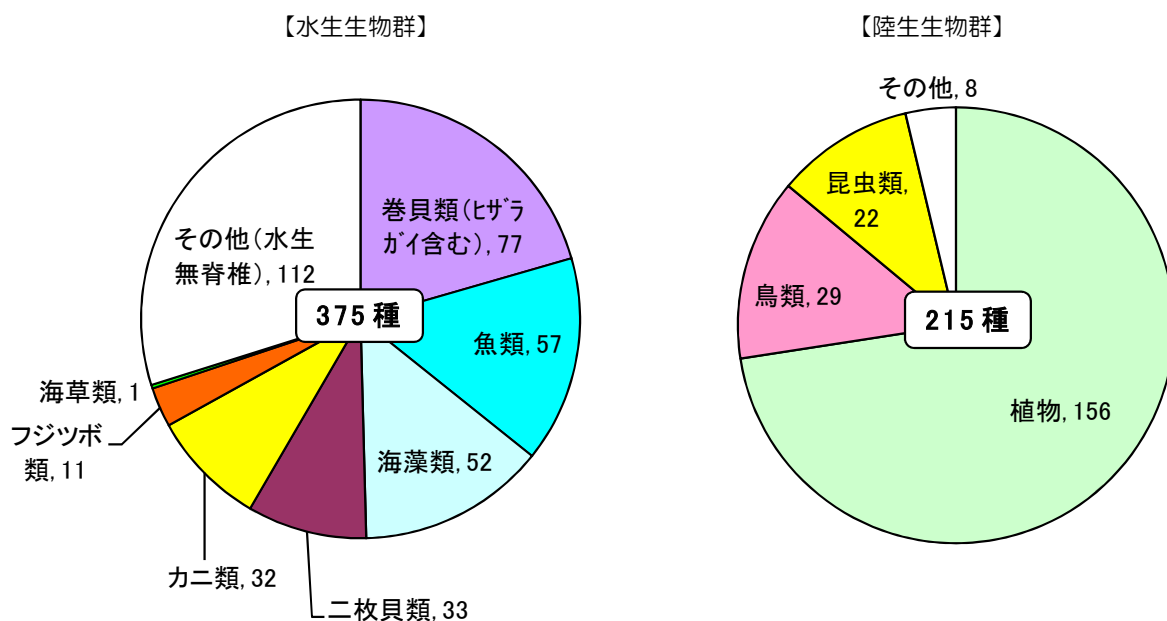
## 2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表1に示しました。

種名まで判別した種類は590種（うち、リスト掲載種41種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が53種、動物は貝類が110種（巻貝77種、二枚貝33種）、魚類が57種、カニ類が32種等でした。また、陸生生物群では、鳥類が29種、陸上植物が156種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各RDBと環境省のレッドリスト（2012年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては78種類が該当しました。このうち、海藻類はスジアオノリ、タニコケモドキ等の3種、動物では、貝類がイボウミナ、ウミナ、クチキレガイ、フトヘナタリ、ミヤコドリガイ、ヨコスジギリガイ等の35種、多毛類がコケゴカイ等の2（属入れて3）種、カニ類はハクセンシオマネキ、ヒメアシハラガニ等の16種、魚類はウキゴリ、ウナギ等の5種、その他はテッポウエビ、ヒモイカリナマコ等の8種等でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生無脊椎類、陸生無脊椎動物を含み、カメ類等若干の水生生物を含む。

図2 平成26年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成26年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
海藻類	緑藻類	1 アオサ科	植物(続き)	16 イヌホオズキ	
		2 アオノリ属		17 イヌムギ	
		3 アオミドロ属		18 ウシオハナツメクサ	
		4 アナアオサ		19 ウチワサボテン	
		5 シオグサ属		20 ウバメガシ	
		6 ジュズモ属		21 ウマゴヤシ	
		7 スジアオノリ		22 ウラギク	
		8 ヒメアオノリ		23 エゾノギシギシ	
		9 ヒメアオノリ属		24 エノキ	
		10 ヒラアオノリ		25 オオアレチノギク	
		11 ボウアオノリ		26 オオオナモミ	
		12 ボタンアオサ		27 オオジシバリ	
		13 ミル		28 オオニワゼキショウ	
		14 緑藻類		29 オオマツヨイグサ	
	褐藻類	15 アカモク		30 オカヒシキ	
		16 アミジグサ		31 オキジムシロ	
		17 イシゲ		32 オッタチカタハミ	
		18 ウミウチワ		33 オニグルミ	
		19 ウミトラノオ		34 オニドロ	
		20 タマハハキモク		35 オニヤブソテツ	
		21 ネバリモ		36 オランダミミナグサ	
		22 ヒジキ		37 ガガイモ	
		23 フクロノリ		38 カスマグサ	
		24 ワカメ		39 カタバミ	
		25 褐藻類		40 カナムグラ	
	紅藻類	26 アマリ属		41 カモジグサ	
		27 イソダンツウ		42 カモミール	
		28 イトグサ属		43 カヤツリグサ属	
		29 イワカワ科		44 カラスノエンドウ	
		30 ウチワツノマタ		45 カラスムギ	
		31 エチゴカニノテ		46 ギシギシ	
		32 オオバツノマタ		47 キツタ	
		33 オキツノリ		48 キバナゼキショウ	
		34 オゴノリ		49 ギョウギシバ	
		35 オバクサ		50 キョウチクトウ	
		36 カイノリ		51 キリ	
		37 カニノテ属		52 キリンソウ	
		38 カバノリ		53 クコ	
		39 キョウノヒモ		54 クサイ	
		40 クロソソ		55 クズ	
		41 ケイギス		56 クスダマツメクサ	
		42 コブソソ		57 クスノキ	
		43 コメノリ		58 クロマツ	
		44 シキンノリ		59 クワ	
		45 シラモ		60 ケチウセンアサガオ	
		46 ススカケベニ		61 ゴウシュウケアリタソウ	
		47 タオヤギソウ		62 コウボウシバ	
		48 タニコケモドキ		63 コウボウムギ	
		49 ツノマタ		64 コゴメバオトギリ	
		50 ツノマタ属		65 コセダングサ	
		51 ツルシラモ		66 コバンソウ	
		52 ツルツル		67 コマツヨイグサ	
		53 ニクムカデ		68 コメツブツメクサ	
		54 ヒメテングサ		69 サナエタデ	
		55 ビリヒバ		70 シオクグ	
		56 フクロフノリ		71 シバ	
		57 フシツナギ		72 シャリンバイ	
		58 フダラク		73 ジュズダマ	
		59 ベニスナゴ		74 シロザ	
		60 ベニマダラ科		75 シロツメクサ	
		61 ホソアヤギヌ		76 シロバナシナガワハギ	
		62 マクサ		77 ススキ	
		63 マツノリ		78 スズメノエンドウ	
		64 ムカデノリ		79 スズメノカタビラ	
		65 ムカデノリ属		80 スズメノチャヒキ	
		66 ヤレウスバノリ		81 セイタカハハコグサ	
		67 ワツナギソウ		82 セイバンモロコシ	
		68 無節サンゴモ類		83 セイヨウカラシナ	
海草類		1 アマモ		84 セイヨウタンポポ	
		2 アオツツラフジ		85 セイヨウヒキヨモギ	
		3 アカカタハミ		86 センダン	
		4 アカツメクサ		87 ソメイヨシノ	
		5 アキグミ		88 タケニグサ	
		6 アキニレ		89 タデ	
		7 アメリカネナシカズラ		90 チガヤ	
		8 アメリカフウロ		91 ツキミマンテマ	
		9 アレチウリ		92 ツルナ	
		10 アレチギシギシ		93 ツワブキ	
		11 アレチヌスビトハギ		94 テリハノイバラ	
		12 アレチハナガサ			
		13 イグサ属			
		14 イソギク			
		15 イタドリ			

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。  
 草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

表1(2) 出現種一覧(平成26年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名			
植物(続き)	95	トウネズミモチ	貝類 (続き)	20	イナザワハベガイ			
	96	トクサ		21	イボウミニナ			
	97	ドクダミ		22	イボサンショウガイモドキ			
	98	トゲチシャ		23	イボニシ			
	99	トベラ		24	ウズラタマキビ属			
	100	ナガエツルノゲイトウ		25	ウノアシガイ			
	101	ナガバギシギシ		26	ウミノシ類(卵塊)			
	102	ナギナタガヤ		27	ウミノメクジ			
	103	ナヨクサフジ		28	ウミニナ			
	104	ナルトサワギク		29	ウミフクロウ			
	105	ナンキンハゼ		30	エビスガイ			
	106	ニシキギ		31	オオヘビガイ			
	107	ニセアカシア		32	オーロラクチキレガイ			
	108	ニワウルシ		33	オトメガサ			
	109	ニワゼキショウ		34	カキウラクチキレモドキ			
	110	ヌルデ		35	カスリアオガイ			
	111	ネズミホソムギ		36	カラマツガイ			
	112	ネズミムギ		37	カワグチツボ			
	113	ノイバラ		38	カワザンショウガイ			
	114	ノゲシ		39	キクハナガイ			
	115	ノミノツツリ		40	クサズリクチキレガイ			
	116	ノラニンジン		41	クチキレガイ			
	117	ハナヌカススキ		42	クビレクロツケガイ			
	118	ハナハマセンブリ		43	クボガイ			
	119	ハハコグサ		44	クリイロカワザンショウ属			
	120	ハマウド		45	クロアワビ			
	121	ハマエンドウ		46	クロシタナシウミウシ			
	122	ハマオモト		47	クロツケガイ			
	123	ハマゴウ		48	コウダカアオガイ			
	124	ハマスゲ		49	コシダカガンガラ			
	125	ハマダイコン		50	コビトウラウスガイ			
	126	ハマツメクサ		51	コモレビコガモガイ			
	127	ハマツルナ		52	サクラアオガイ			
	128	ハマナス		53	サザエ			
	129	ハマナデシコ		54	シボリガイ			
	130	ハマニンニク		55	シマハマツボ			
	131	ハマビシ		56	シマメノウフネガイ			
	132	ハマヒルガオ		57	スガイ			
	133	ハマボウ		58	スソカケガイ			
	134	ハマボウフウ		59	タマキビガイ			
	135	ハマボツス		60	チグサガイ			
	136	ヒナギキョウ		61	ツメタガイ			
	137	ヒメクマツツラ		62	ツメタガイ科(卵塊)			
	138	ヒメコバンソウ		63	ドーリス科			
	139	ヒメジョオン		64	ナギツボ			
	140	ヒラカンサ		65	ナフメグルマ類			
	141	ヒロードモウズイカ		66	ネジガイ			
	142	ヘラオオバコ		67	ヒナユキスズメ			
	143	ホコガタアカザ		68	ヒメコザラ			
	144	ホソムギ		69	ヒラドカワザンショウガイ			
	145	マツバウンラン		70	フジタウミウシ科			
	146	マメグンバイナズナ		71	ブドウガイ			
	147	マンテマ		72	フトヘナタリ			
	148	マンネングサ属		73	ヘコミツラガイ科			
	149	ミチヤナギ		74	ベッコウガサガイ			
	150	メドハギ		75	ホソウミニナ			
	151	メマツヨイグサ		76	ホソスジアオガイ			
	152	メリケントキンソウ		77	マダラウミウシ			
	153	モモ		78	マツバガイ			
	154	ヤエムグラ		79	マルウズラタマキビガイ			
	155	ヤノネボンテンカ		80	ミサカエクチキレ			
	156	ヤマアワ		81	ミヤドリガイ			
	157	ユリ類		82	ムギガイ			
	158	ヨシ		83	ムシロガイ科			
	159	ヨモギ		84	ヤマトウミウシ			
	160	ランタナ		85	ヤミヨキセウタ属			
	貝類	ヒザラガイ類		1	ウスヒザラガイ	二枚貝類	90	アオカリガネガイ
				2	ウスヒザラガイ科		91	アサリ
				3	クサズリガイ		92	イガイダマシ
				4	ケハダヒザラガイ		93	イタボガキ科
				5	ハバガセ		94	イワガキ
				6	ヒザラガイ		95	ウスカラシオツガイ
				7	ヒメケハダヒザラガイ		96	ウネナシトマヤガイ
				8	ヤスリヒザラガイ		97	カガミガイ
		巻き貝類		9	アオガイ		98	カキ類
				10	アオガイ属		99	カリガネガイ
				11	アカニシ		100	キヌマトイガイ
				12	アシヤガイ			
				13	アマクサアメフラシ			
				14	アメフラシ			
				15	アラムシロガイ			
				16	アラレタマキビガイ			
				17	インダタミガイ			
				18	イシマキガイ			
				19	イズミドリガイ			

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。  
 草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

表1(3) 出現種一覧(平成26年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名	
貝類 (続き)	二枚貝類(続き)		フジツボ類(続き)	8	タロクヒラフジツボ	
	101	クテバガイ		9	ドロフジツボ	
	102	ケガキ		10	ムツアナヒラフジツボ	
	103	コウロエンカワヒバリガイ		11	ヨーロッパフジツボ	
	104	サルボウガイ		ヤドカリ類	1	イザナミツノヤドカリ
	105	セミアサリ			2	イソカニダマシ
	106	ソトオリガイ			3	イソカニダマシ属
	107	トマヤガイ			4	ケアシホンヤドカリ
	108	ナミマガシワガイ			5	ケブカヒメヨコバサミ
	109	ニッポンマメアゲマキガイ			6	コブカニダマシ
	110	バカガイ			7	コブヨコバサミ
	111	ハナグモリガイ	8		テナガツノヤドカリ	
	112	ヒメアサリ	9		ヒラトゲガニ	
	113	ヒメシラトリガイ	10		ホンヤドカリ	
	114	ホトトギスガイ	11		ユビナガホンヤドカリ	
	115	ホンビノスガイ	12		ヨモキホンヤドカリ	
	116	マガキ	カニ類	1	アカテガニ	
	117	マツカゼガイ		2	アシハラガニ	
	118	マテガイ		3	シシガニ	
	119	マルミエガイ		4	イソガニ	
	120	ミドリガイ		5	イッコクモガニ	
	121	ミミエガイ		6	イボイチョウガニ	
	122	ムラサキイガイ		7	オウキガニ	
	123	ヤマトシジミ		8	オサガニ	
124	ユウシオガイ	9		カクベンケイガニ		
多毛類	1	Hydroides属		10	ガザミ	
	2	Polydora属		11	カネコブシ	
	3	アシナガコカイ		12	クロベンケイガニ	
	4	ウズマキコカイ科		13	ケフサイソガニ	
	5	ウミケムシ		14	シオマネキ	
	6	ウロコムシ科	15	シワオウギガニ		
	7	エゾカサネカンザシコカイ	16	スナガニ		
	8	オノミチチロリ	17	スナガニ属		
	9	カワコカイ属	18	スネナガイソガニ		
	10	カンザシコカイ科	19	タイワンガザミ		
	11	クマノアシツキ	20	タカノケフサイソガニ		
	12	ケヤリムシ	21	チチュウカイミドリガニ		
	13	ゴカイ科	22	ハクセンシオマネキ		
	14	コケゴカイ	23	ハマガニ		
	15	サシバゴカイ科	24	ヒメアカソガニ		
	16	サンハチウロコムシ	25	ヒメアシハラガニ		
	17	タマシキゴカイ	26	ヒメベンケイガニ		
	18	チロリ科	27	ヒメヤマトオサガニ		
	19	ナデシコカンザシ	28	ヒライソガニ		
	20	アツウゴカイ	29	ヒライソガニ属		
	21	マサゴゴカイ	30	マキトラノオガニ		
	22	マダラウロコムシ	31	マメコブシガニ		
	23	ミスヒキゴカイ	32	モクズガニ		
	24	ミロクウロコムシ	33	ヤマトオサガニ		
	25	ヤチウロコムシ	34	ワタズガニ		
	26	ヤッコカンザシ	魚類	1	アイナメ	
	27	多毛類		2	アオタナゴ	
ヨコエビ・ワレカラ類	1	Monocorophium属		3	アカエイ	
	2	アゴナガヨコエビ属		4	アカオビシマハゼ	
	3	アリアケドロクダムシ		5	アゴハゼ	
	4	ウミモワレカラ		6	アサヒアナハゼ	
	5	オオサカドロソコエビ		7	アナハゼ	
	6	オオワレカラ		8	アベハゼ	
	7	カマキリヨコエビ属		9	アミメハギ	
	8	カマテワレカラ		10	アユ	
	9	シミスメリタヨコエビ		11	イシガレイ	
	10	トゲワレカラ		12	イソギンポ	
	11	トンガリドロクダムシ		13	ウキゴリ	
	12	ナガタメリタヨコエビ		14	ウキゴリ属	
	13	ニッポンモバヨコエビ		15	ウナギ	
	14	ニホンドロクダムシ		16	ウミタナゴ	
	15	ニホンドロソコエビ		17	ウロハゼ	
	16	ヒゲツノメリタヨコエビ		18	オオカズナギ	
	17	ヒゲナガヨコエビ属		19	オクヨウジ	
	18	ヒゲナガヨコエビ科		20	オニオコゼ	
	19	ヒメハマトビムシ		21	カゴカキダイ	
	20	フサゲモクス		22	カサゴ	
	21	フトメリタヨコエビ		23	カワアナゴ	
	22	ボシエットゲオヨコエビ		24	カワムツ	
	23	マルエラワレカラ		25	キチヌ	
	24	マルソコエビ科		26	キュウセン	
	25	モズミヨコエビ		27	ギンポ	
	26	ヨコエビ類	28	クサフグ		
	27	ワレカラ科	29	クジメ		
フジツボ類	1	アメリカフジツボ	30	クロサギ科		
	2	イワフジツボ	31	クロソイ		
	3	カメノテ	32	クロダイ		
	4	クロフジツボ				
	5	サンカクフジツボ				
	6	シロスジフジツボ				
	7	タテジマフジツボ				

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。  
 草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

表1(4) 出現種一覧(平成26年度)

分類群	No.	和名	
魚類(続き)	33	コトヒキ	
	34	コモンフグ	
	35	サラサカジカ	
	36	シマイサキ	
	37	シロメバル	
	38	スジハゼ	
	39	スズキ	
	40	セスジボラ	
	41	ダイナンギンボ	
	42	タカハヤ	
	43	タケギンボ	
	44	チチフ	
	45	トウゴロウイワシ	
	46	トビウオ	
	47	トラフグ属	
	48	ドロメ	
	49	ナベカ	
	50	ヒイラギ	
	51	ヒメハゼ	
	52	ヒラメ	
	53	フグ科	
	54	ヘビギンボ	
	55	ボラ	
	56	ボラ科	
	57	マコガレイ	
	58	マゴチ	
	59	マハゼ	
	60	ミズハゼ属	
	61	ムスジガシ	
	62	メジナ	
	63	メジナ属	
	64	メバル属	
	65	ヨウジウオ	
	66	ヨウジウオ科	
	67	ホンベラ	
	68	マダイ	
	爬虫類	1	クサガメ
		2	ニホンカナヘビ
		3	ニホントカゲ
		4	ミシジッピーアカミミガメ
	昆虫類	1	アオスジアゲハ
		2	アオモンイトトンボ
		3	アカタテハ幼虫
		4	アブ類サナギ
		5	アブ類幼虫
		6	アリ科
		7	イラガ
		8	ウミベアカバハネカクシ
		9	ウリハムシ
		10	カメムシ類
		11	ガ類
		12	キチョウ
		13	キリギリス
		14	クサカゲロウ
		15	コアオハナムグリ
		16	ゴキブリ類
		17	シオカラトンボ
		18	シヤクガ類幼虫
		19	スズバチ類
		20	スズメガ科幼虫
		21	セセリチョウ類
		22	セマダラコガネ
		23	ツノロウムシ
		24	ツバメシジミ
		25	トビムシ類
		26	ナナホシテントウ
		27	オミテントウ
		28	ハマベハサミムシ
29		ハムシ類	
30		ヒラタアブ類	
31		ヒロヘリアオイラガ	
32		ベニシジミ	
33		モンキチョウ	
34		ヤマトシジミ(昆虫)	
35		ヨモギハムシ	
鳥類	1	アオサギ	
	2	イソシギ	
	3	ウグイス	
	4	ウミネコ	
	5	オオソリハシシギ	
	6	オオヨシキリ	
	7	カモ科	
	8	カルガモ	
	9	カワウ	
	10	カワラヒワ	

分類群	No.	和名		
鳥類(続き)	11	キアシシギ		
	12	キジト		
	13	コアシサシ		
	14	コサギ		
	15	シロチドリ		
	16	スズメ		
	17	セキレイ属		
	18	セッカ		
	19	ソリハシシギ		
	20	ダイサギ		
	21	チュウシャクシギ		
	22	ツバメ		
	23	ドバト		
	24	ハクセキレイ		
	25	ハシブトガラス		
	26	ハシボソガラス		
	27	ヒバリ		
	28	ヒヨドリ		
	29	ミサゴ		
	30	ムクドリ		
	31	メジロ		
	その他	カイメン類	1	イソカイメン科
			2	イソカイメン属
			3	クロイソカイメン
			4	ダイダイイソカイメン
			5	ナミイソカイメン
			6	普通海綿綱
		クラゲ類	7	アカクラゲ
			8	カキノテクラゲ
			9	カミクラゲ
			10	ミズクラゲ
ヒドロ虫類		11	ヒドロ虫綱	
		12	ウミサカツキガヤ科	
		13	ウミシバ科	
イソギンチャク類		14	Anthopleura属	
		15	タテジマイソギンチャク	
		16	チゲイソギンチャク	
		17	ヒメイソギンチャク	
		18	ベリルイソギンチャク	
		19	ヨロイイソギンチャク	
ヒラムシ類		20	ウスヒラムシ	
		21	オオツノヒラムシ	
		22	スチロヒラムシ科	
		23	ツノヒラムシ	
		24	ツノヒラムシ科	
		25	ヒラムシ類	
		26	ミノヒラムシ	
		27	毛ヨウマルヒラムシ	
ヒモムシ類		28	ヒモムシ類	
腕足類		29	スズメガイダマシ	
コケムシ類		30	サラコケムシ科	
		31	チコケムシ	
		32	フサコケムシ	
		33	ホソフサコケムシ	
		34	モンクチコケムシ	
		35	オナジマイマイ	
頭足類		36	ヒメイカ	
37		マダコ		
ユムシ類		38	ユムシ類	
貧毛類		39	ミズ類	
ヒル類		40	ヒル類	
クモ類		41	オニグモ	
		42	クサグモ類	
		43	コガネグモ	
		44	ナガコガネグモ	
		45	ネコハエトリ類	
		46	ハエトリグモ科	
		47	ワカバグモ類	
		48	ウミグモ綱	
貝形虫類		49	ウミホタル	
フクロムシ類		50	ウンモンフクロムシ	
コノハエビ類	51	コノハエビ		
等脚類	52	イソコツブムシ属		
	53	エビヤドリムシ科		
	54	コツブムシ科		
	55	ダンゴムシ類		
	56	ハマワラジムシ属		
	57	フナムシ		
58	フナムシ属			
59	ヨツバコツブムシ			

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。  
 草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

表 1 (5) 出現種一覧 (平成 26 年度)

分類群	No.	和名	
その他 (続き) タナイス類	60	キスイタナイス種群	
	61	アシナガスジエビ	
	エビ類	62	イソテッポウエビ種群
		63	イソモエビ
		64	エビジャコ類
		65	カワリヌマエビ属
		66	サラサエビ
		67	スジエビ
		68	スジエビモドキ
		69	スジエビ属
		70	セジロムラサキエビ
		71	テッポウエビ
	72	テナガエビ	
	73	ホソモエビ	
	74	ユビナガスジエビ	
	75	ヨシエビ	
	アナジャコ類	76	スナモグリ
		77	スナモグリ類
		78	ハサミシヤコエビ
	ムカデ類	79	ジムカデ類
	ウミシダ類	80	ニッポンウミシダ
	ヒトデ類	81	イトマキヒトデ
		82	キヒトデ
		83	チビイトマキヒトデ
		84	トゲモミジガイ
85		ヌノメイトマキヒトデ	
86		ヤツデヒトデ	
クモヒトデ類		87	ナガトゲクモヒトデ
ウニ類	88	ハスノハカシパン	
	89	バファンウニ	
	90	ムラサキウニ	
	91	イカリナマコ科	
ナマコ類	92	イシコ	
	93	ヒモイカリナマコ	
	94	マナマコ	
	95	アスキジア科	
	96	イタボヤ	
ホヤ類	97	イタボヤ科	
	98	ウスボヤ属	
	99	ウスボヤ科	
	100	エボヤ	
	101	カタユウレイボヤ	
	102	シロウスボヤ	
	103	シロボヤ	
	104	フタスジボヤ	
	105	マンジュウボヤ	
	106	マンハッタンボヤ	
	107	ミハエルボヤ	
	ナメクジウオ類	108	ヒガシナメクジウオ

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。  
 草色セル:淡水産種で種数計数からは除いた。

### 3. リスト掲載種の出現状況

#### 3-1. 平成 26 年度結果

リスト掲載種の調査箇所別出現状況を表 2 に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成 26 年度）

分類群	No.	和名/地点	地点No.																									合計
			1	2	3	4	5	7	8	9	10	12	13	14	15	17	19	20	21	22	23	24	25					
海藻類	緑藻類	1 アナアオサ	●			●	●		●	●	●		●	●		●			●	●	●		●	13				
		2 スジアオノリ				●	●					●	●		●	●								●	6			
	紅藻類	3 オゴノリ									●	●		●	●									●	4			
植物	1 オカヒジキ	●	●			●													●				●	5				
	2 コウボウムギ	●		●	●														●					4				
	3 ハマウド				●							●								●				4				
	4 ハマゴウ	●	●	●	●						●								●				●	6				
	5 ハマダイコン			●	●														●	●				4				
	6 ハマボウフウ	●	●	●							●	●							●					6				
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキビガイ	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18				
		2 イシマキガイ		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9				
		3 イボニシ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17				
		4 タマキビガイ	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14				
		5 フレリゲアメフラシ																						0	0			
	二枚貝類	6 アサリ	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15				
		7 ウスカラシオツガイ		●	●			●									●	●						5				
		8 ウネナシトマヤガイ		●	●	●		●	●					●										6				
		9 クチバガイ	●	●	●			●	●				●	●	●	●								10				
		10 ケガキ	●						●	●	●	●	●	●	●	●				●			●	11				
		11 コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12				
		12 マガキ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	16				
		13 ムラサキイガイ		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					12				
フジツボ類	1 アカフジツボ																						0	0				
	2 アメリカフジツボ		●	●	●		●			●						●	●	●					8					
	3 クロフジツボ	●								●								●	●	●		●	6					
	4 シロスジフジツボ				●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9					
	5 タテジマフジツボ			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14					
	6 ドロフジツボ				●	●					●					●	●						5					
	7 ヨーロッパフジツボ			●	●	●					●					●	●	●					8					
ヤドカリ類	1 ホンヤドカリ	●							●				●						●	●			6					
	2 ユビナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19					
カニ類	1 アカテガニ				●						●												2					
	2 アシハラガニ				●	●				●		●		●									5					
	3 イソガニ	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13					
	4 オウギガニ																	●	●				2					
	5 クロベンケイガニ				●	●																	2					
	6 ケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16					
	7 スナガニ	●								●		●											3					
	8 タカノケフサイソガニ		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13					
	9 チチュウカイミドリガニ		●	●	●		●	●								●	●						7					
	10 ハクセンシオマネキ		●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7					
	11 ヒライソガニ	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13					
	12 ヤマトオサガニ				●	●		●				●		●									5					
その他	1 多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	21					
	2 ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	20					
種類数(●の数)			17	19	25	25	10	16	19	16	26	27	19	15	22	13	21	11	17	12	12	7	11	41				

注: 1) ●:種まで同定されたもの □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)

2) 種名は各分類群中で五十音順。

リスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型もしくは内湾～外海型の種の出現頻度が高く、ユビナガホンヤドカリは21地点中19地点で、アラレタマキビガイは18地点で確認されました。河口型の生物ではケフサイソガニが16地点で、外海型の生物ではケガキが11地点で確認されました。

なお、今年度は調査シートに掲載された37種のうち、アカフジツボ及びフレリトゲアメフラシを除く35種がいずれかの地点で確認されました。

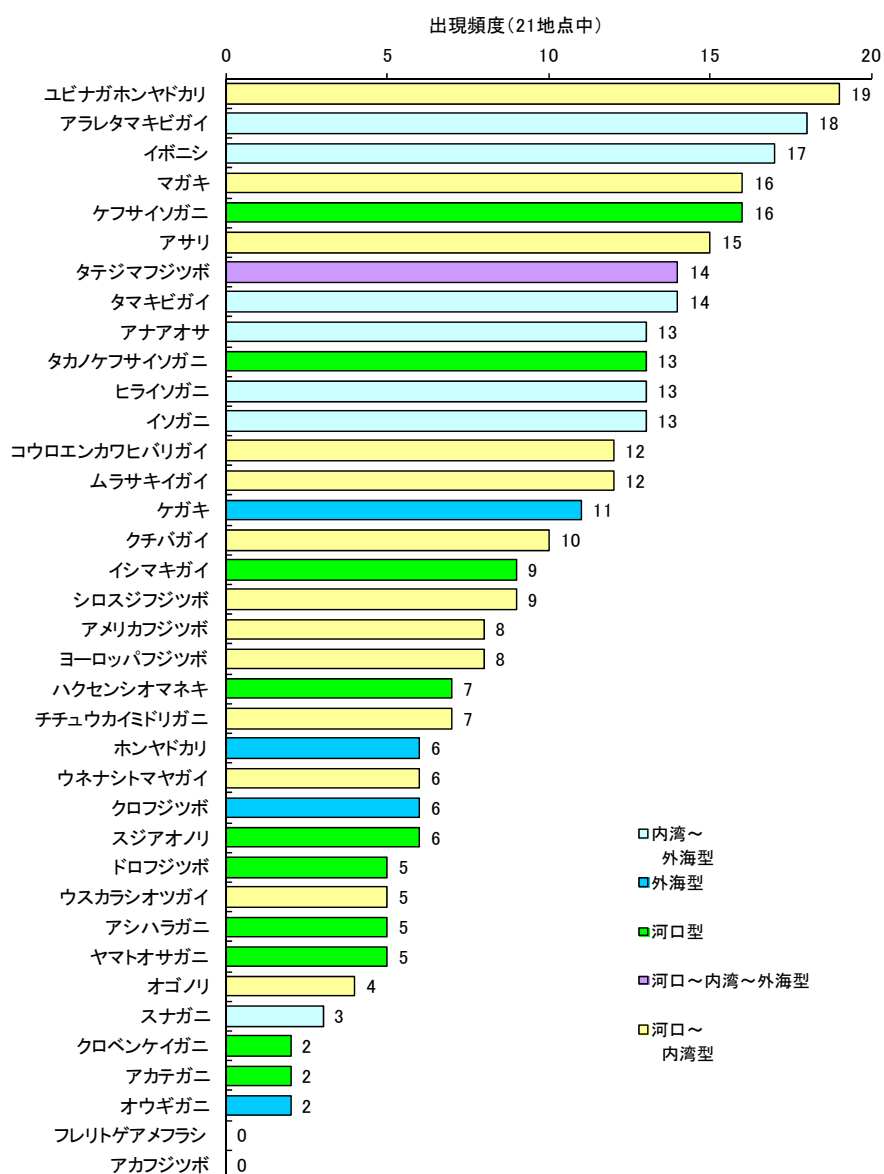
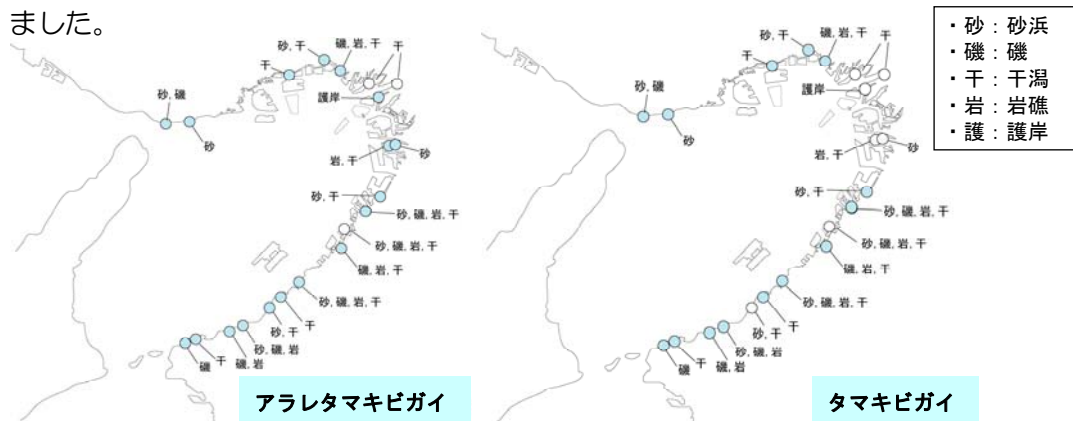


図3 リスト掲載種の生態型と出現頻度(平成26年度)

リスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図 4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型であり、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年は静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 海型のホンヤドカリは、須磨一阪南2区ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは一部ホンヤドカリと重複し、湾内のほぼ全域で出現しました。

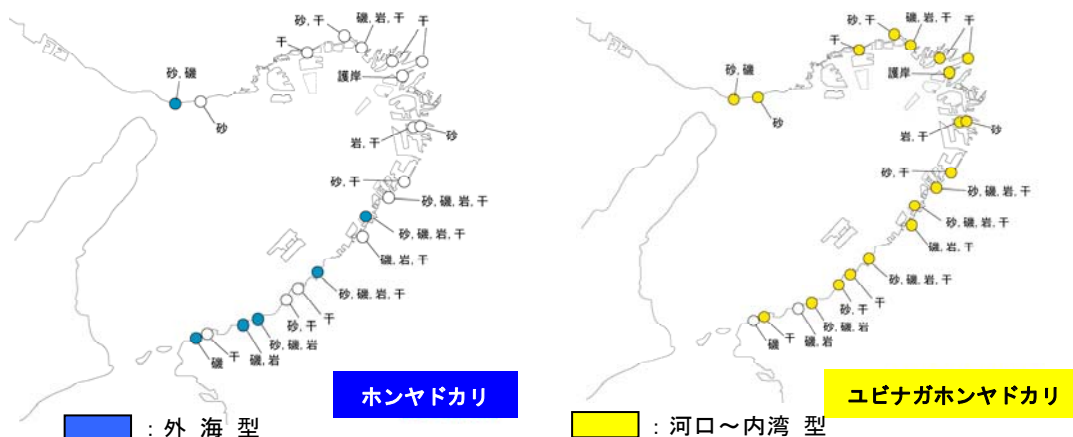
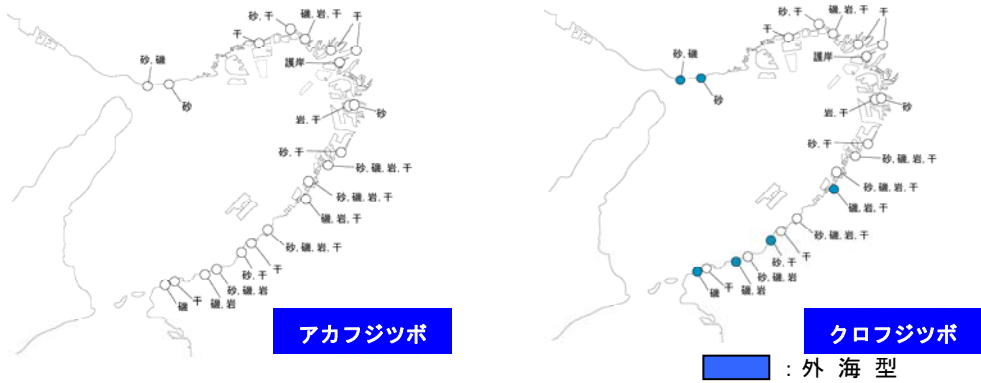


図 4(1) 代表的な種の分布 (貝類、ヤドカリ類) —平成 26 年度

フジツボ類

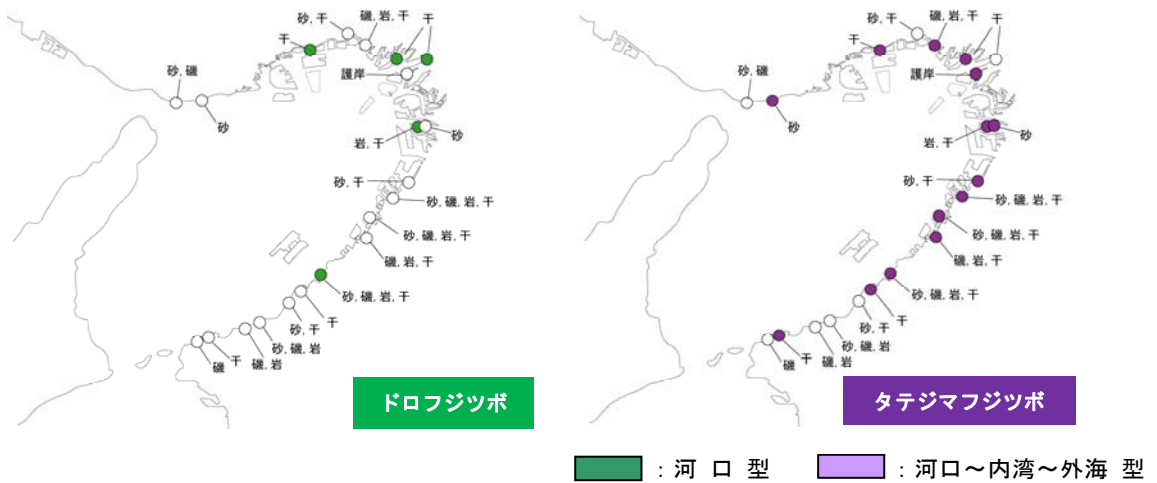
- 外海型のクロフジツボは、須磨―近木川ラインより湾口側で出現し、同型のアカフジツボは今年確認されませんでした。



- 河口～内湾型のシロスジフジツボは湾奥及び一部を除く湾全域で出現し、同型のアメリカフジツボとヨーロッパフジツボは湾奥～湾中間域一帯で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは湾中間域～湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。

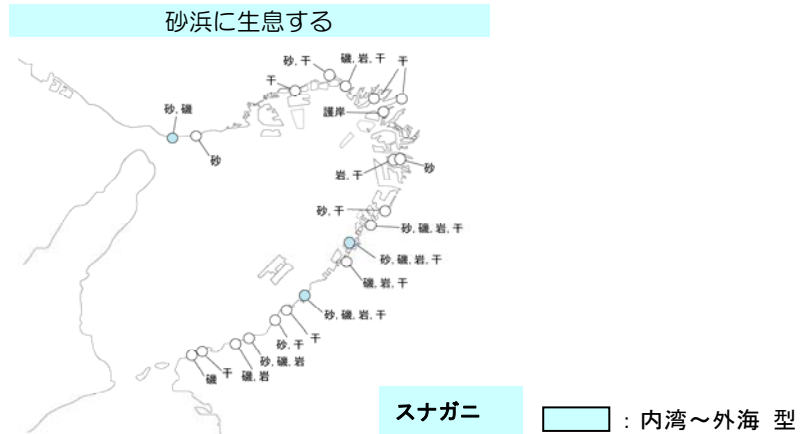


- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

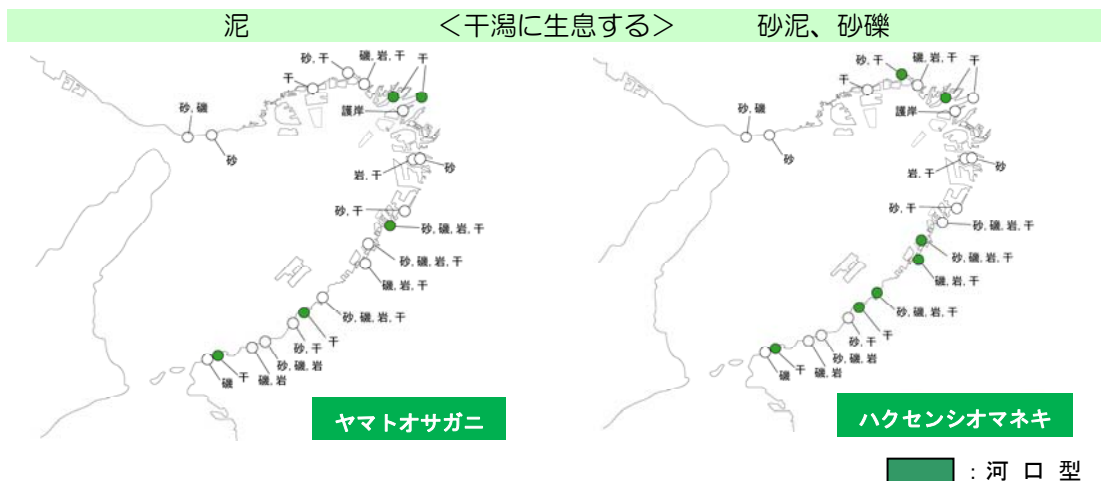
図4(2) 代表的な種の分布(フジツボ類)―平成26年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニが確認されたのは、兵庫県側の1地点と大阪府側の2地点の計3地点でした。



- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは矢倉干潟・十三干潟・大津川・男里川・東川などの河口泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。



- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。



図4(3) 代表的な種の分布(カニ類) —平成26年度  : 河口型

外来種

- ミドリイガイは甲子園浜と天保山の2地点で確認されました。ミドリイガイは主に潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは湾奥～湾口まで広域で確認されました。

□ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニは湾奥の地点で出現しました。

□ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシは高師浜と塩分の低い矢倉干潟で、ウスカラシオツガイは湾奥～湾中間域の限定された地点で出現しました。カニヤドリカンザシゴカイは確認されませんでした。

□ : 河口型 □ : 河口～内湾 型

- これら外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。



ミドリイガイ



ムラサキイガイ



コウロエンカワヒバリガイ



チチュウカイミドリガニ



イガイダマシ



ウスカラシオツガイ

図4(4) 代表的な種の分布(外来種) - 平成26年度

### 3-2. 過年度との比較

リスト掲載種について、平成 20～25 年度調査結果と併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度のリスト掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、7 ヶ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。





付表 貴重種の出現状況一覧（平成26年度）

分類群	種名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2012年度種RL 3)	水産庁RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
海藻類	緑藻類	1 スジオノリ			減少傾向			
	紅藻類	2 タニコケドモキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				
		3 ホノアヤギス	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				
海藻類	1 アマモ		アマモ属(生息系) A					
植物(シート記載種のみ)	1 コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類					
	2 ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類					
	3 ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類					
貝類	巻貝類	1 アカニシ			減少	危険		
		2 イシナギガイ			減少			
		3 イナザワハバガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		4 イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類
		5 ウミナメクジ		情報不足	危険			
		6 ウミナメ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧
		7 カキウラクチキレドモキ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		8 カワグチツボ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		9 カワザンショウガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			
		10 クサズリクチキレガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			
	11 クチキレガイ		情報不足					
	12 クワイロカワザンショウ属	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	13 シボリガイ(ヒメコザラ)		準絶滅危惧					
	14 ナギツボ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	15 ヒナユキスズメ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
	16 ヒラドカワザンショウガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧				
	17 フトヘナリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
	18 ホノミナ		絶滅危惧Ⅰ類					
	19 マルウスラタマキガイ					危険		
	20 ミヤコリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
	21 ヨコイカケリ		情報不足			危険		
	22 ヨコスジリガイ		準絶滅危惧					
二枚貝類	1 イワガキ				減少傾向			
	2 ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧		危険		
	3 カガミガイ		準絶滅危惧					
	4 クチバガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧				
	5 トノリガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険		
	6 ニッポンマメアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	7 ハカガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	絶滅危惧Ⅱ類	
	8 ハナグモリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類		危険	絶滅危惧Ⅱ類	
	9 ヒメアサリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧				
	10 マツカセガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧				
	11 マテガイ	要注目	準絶滅危惧	準絶滅危惧				
	12 ヤマトシジミ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	13 ヨウシオガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
多毛類	1 カワゴカイ属	(準絶滅危惧)						
	2 コケコカイ	(準絶滅危惧)						
	3 タマシキコカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
ヨコエビ・ワレカラ類	1 オオサカドロソコエビ		絶滅危惧Ⅰ類				準絶滅危惧	
	2 ニホドロクダムシ		準絶滅危惧					
ヤドカリ類	1 テナガツヤドカリ						準絶滅危惧	
	2 ヒメキホヤドカリ						準絶滅危惧	
カニ類	1 アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	2 アンハラガニ	(準絶滅危惧)						
	3 オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	4 カネコブシ		準絶滅危惧	情報不足				
	5 クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)						
	6 シオマネキ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険	絶滅危惧Ⅱ類		
	7 スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					
	8 スナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧		希少	準絶滅危惧		
	9 ハウセンシオマネキ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧	
	10 ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	11 ヒメアシハラガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	12 ヒメヤマトオサガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	13 マキトラノオガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧		希少			
	14 マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	15 モクスガニ				減少傾向			
	16 ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)						
魚類	1 アユ		準絶滅危惧					
	2 ウキゴリ	(情報不足)	準絶滅危惧					
	3 ウナギ(ニホンウナギ)*1)		絶滅危惧Ⅱ類*1)	絶滅危惧ⅠB類*1)				
	4 カワアナゴ	(絶滅危惧Ⅰ類)						
	5 テナブ	(情報不足)						
その他	頭足類	1 ヒメイカ		絶滅危惧Ⅱ類		減少		
		2 ヨツバコツツムシ		準絶滅危惧				
	等脚類	3 エビジャコ類	(絶滅危惧Ⅱ類)*2)					
		4 テッポウエビ	(準絶滅危惧)					
	アナジャコ類	5 ハサミジャコエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		6 ハスノハシッパ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				
	ウニ類	7 ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				
	ナマコ類	8 ヒガシナメクジウオ*3)	(絶滅危惧Ⅱ類)			危急*4)	危険*4)	
ナメクジウオ類					危急*4)	準絶滅危惧		

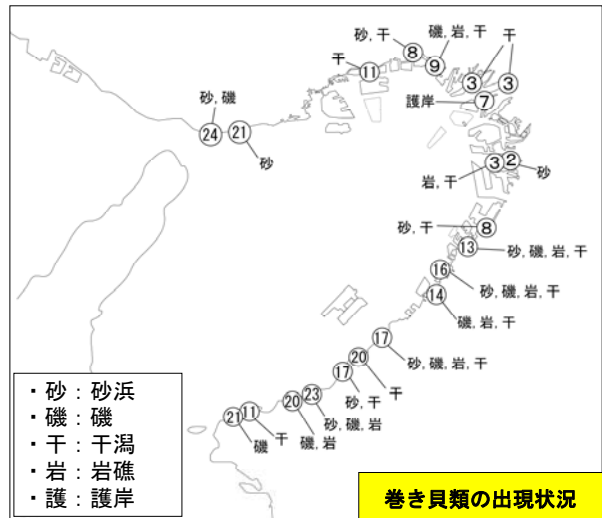
注)  
 1) 兵庫県版レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2010(植物・植物群系)と兵庫県版レッドデータブック2003(魚類)による。  
 ( )は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリーに置換したものである。  
 2) 大阪府レッドリスト2014による。  
 3) 環境省 2012年度レッドリスト  
 4) 水産庁 1998:日本の希少な野生生物に関するデータブック 社団法人日本水産資源保護協会 437pp.東京  
 5) WWF Japan Science Report vol.3.1998.  
 評価「普通」は省略した。  
 6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック- 東海大学出版会 神奈川県 285pp.  
 7) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。  
 8) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。  
 絶滅危惧Ⅰ類:現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。  
 絶滅危惧Ⅱ類:現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。  
 準絶滅危惧:現時点での絶滅危険度小さいが、生息条件の変化によって「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。  
 情報不足:評価するための情報が不足している種。  
 要注目種(兵庫):最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。  
 要調査種(兵庫):改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。  
 要注目種(大阪):「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。  
 減少傾向(水産庁):長期的にみて減少しつつあるもの。  
 減少(水産庁):明らかに減少しているもの。  
 希少(水産庁):存続基盤が脆弱な種・亜種。  
 危急(水産庁):絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。  
 危険(WWF):絶滅に向けて進行しているみなされる種。今すぐ絶滅という危険に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。  
 希少(WWF):稀に絶滅を危惧されることはないが、もとも個体数が非常に少ない種。  
 普通・希少(WWF):地域により状況が異なる。  
 9) 表中網掛けは、今年度初確認の貴重種を示す。  
 10) 貴重種記載資料の該当府県の場所没有出现していない場合もある。  
 ■平成26年度初確認の貴重種(表中網掛け)  
 タニコケドモキ、海藻類(紅藻類)  
 イボウミナ、貝類(巻貝類)  
 クチキレガイ、貝類(巻貝類)  
 ヨコスジリガイ、貝類(巻貝類)  
 ニッポンマメアゲマキガイ、貝類(二枚貝類)  
 ハナグモリガイ、貝類(二枚貝類)  
 テナガツヤドカリ、ヤドカリ類  
 ヒメアシハラガニ、カニ類  
 ウキゴリ、魚類

## 調査テーマ「巻き貝」の結果

巻き貝の出現種数を図5に示します。すべての地点で巻き貝が確認されています。アジュール舞子が最も多く24種類が確認されました。

また、ウミニナ、ホソウミニナ、イボウミニナ、フトヘナタリの確認状況を図6に示します。

ウミニナは21地点中7地点、ホソウミニナは2地点、イボウミニナは1地点、フトヘナタリは2地点で確認されました。



注) ○印の中の数字が巻き貝類の出現種数である。

図5 巻き貝の出現状況（平成26年度）

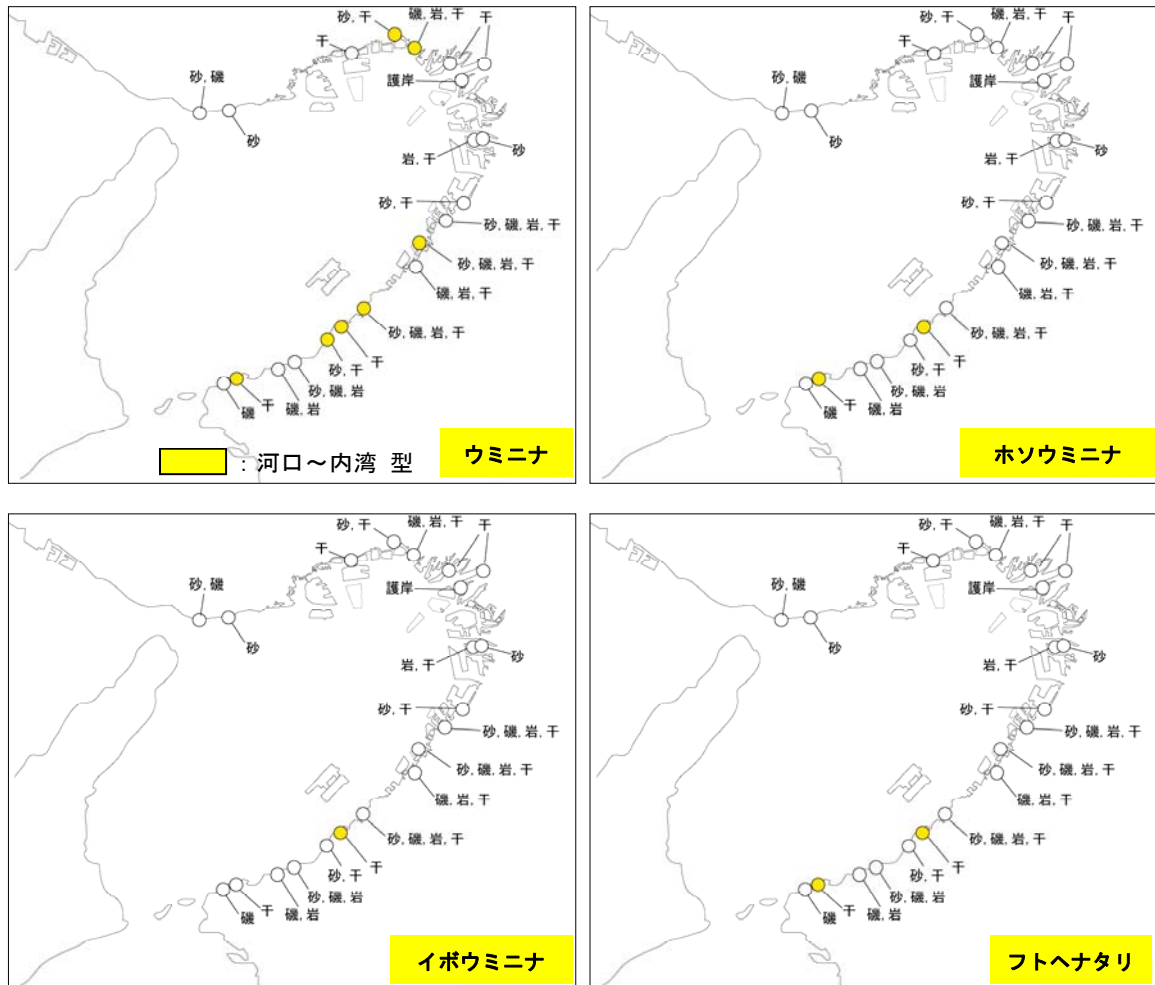


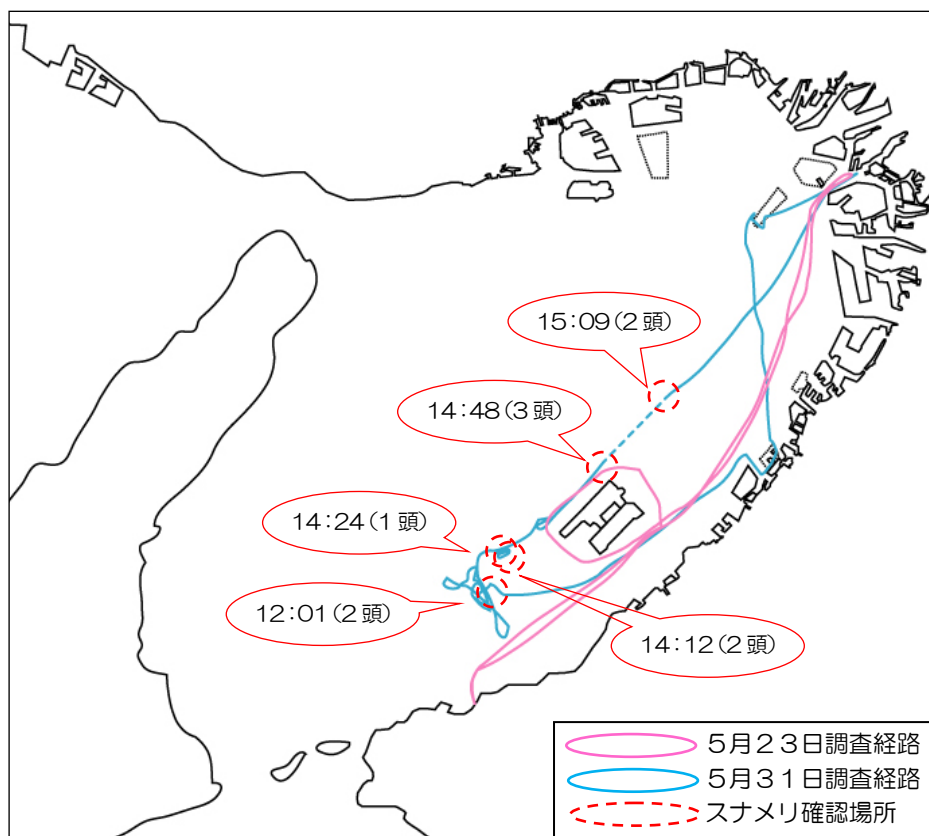
図6 ウミニナ等の出現状況（平成26年度）

## スナメリ調査

5月23日及び31日に下図の経路で調査を実施しました。

5月23日の調査ではスナメリを確認できませんでしたが、5月31日の調査ではおよそ阪南市沖から岸和田市沖にかけて5群10頭を確認しました。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする  
ことがなくなりました。

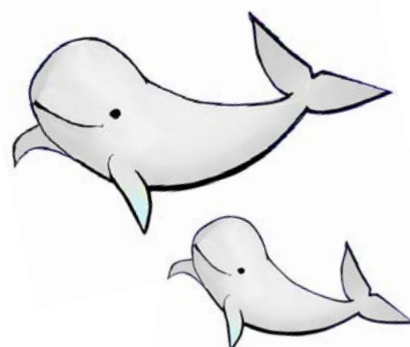


### 【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメソ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ

【変更履歴】

2026.3 P02 コメントの変更

2026.3 P17 付表の差し替え